令和５年度品川区成年後見制度地域連携ネットワーク交流会　開催報告

資料５

１　開催日時　　令和６年１月２２日（月）　午前１０時００分～１２時００分

２　出席団体

　⑴　ＮＰＯ法人　市民後見人の会

　⑵　一般社団法人　しんきん成年後見サポート

⑶　ＮＰＯ法人　東京市民後見サポートセンター

　⑷　ＮＰＯ法人　フレンド

　⑸　ＮＰＯ法人　ライフサポート東京

　⑹　公益社団法人　東京社会福祉士会　権利擁護センターぱあとなあ東京

　⑺　東京弁護士会

　⑻　第一東京弁護士会

　⑼　第二東京弁護士会

　⑽　社会福祉法人　品川区社会福祉協議会

　　　（事務局：品川区）

３　内容

⑴　各団体の課題について

ア　成年後見人の担い手確保

　　　(ｱ)　団体Ａ

・2006年から市民後見人養成講座を開催しており、会員確保の大きな役を果たしているが、会員の入れ替わりが多いという問題もある。

(ｲ)　団体Ｂ

・メンバーの中で知り合いをお互いに誘って会員になってもらうというのが今までの方法。

今後どういった形で人数を増やしていくか課題である。

(ｳ)　団体Ｃ

・定年年齢が上がっているため活動年数減ってしまうことが問題。

イ　活動費確保

　　(ｱ)　団体Ｄ

・我々が得られる報酬は報酬付与のみ。報酬付与額が少ないため厳しい。

　　　(ｲ)　団体Ｅ

・組織運営上、法定後見に加え、任意後見、生前事務等の支援に注力し、その収益を頼りにしようとしている。

⑵　品川区における課題について

　　ア　団体Ｆ

・市民が後見人を引き受けるためには、専門職のサポート方法を考えなければなら

ない。このような仕組みを検討していただきたい。

　　イ　団体Ｇ

　　・マッチングや方針決定に専門職の視点が入るというのは大事。